

広報

2025年12月
VOL.336

よろん

ひとの動き

【令和7年 10月末時点】

人口 4,955人

男：2,429人

女：2,526人

世帯数 2,644世帯

特集

町民体育大会・駅伝競走大会 開催！



【表紙の写真】力の限り綱を引く高校生。町民体育大会では子どもから大人まで多くの町民が参加し熱戦が繰り広げられました。今年は集落対抗では立長集落、校区対抗では茶花校区が優勝しました！

選手宣誓！



第58回 町民体育大会 茶花校区・立長集落 優勝！

2025.10.12(日) 与論町総合運動場

10月12日(日)、晴天のもと令和7年度第58回町民体育大会が開催されました。選手の皆さんの懸命な競技姿と、応援席からの温かい声援により会場は大いに盛り上がりました。日頃の練習の成果が発揮され、好記録も数多く誕生し、5種目において新記録が樹立されました。

選手の皆さんのご健闘に心から敬意を表するとともに、大会運営にご協力をいただいた各関係機関・ボランティアの皆様、そして温かい応援を寄せてくださった町民の皆様に厚くお礼申し上げます。本大会を通じて、町民の皆様がスポーツをより身近に感じ、健康づくりと地域の絆がさらに深まることを期待いたします。



選手宣誓！



第43回 与論町駅伝競走大会 開催！

2025.11.9（日）与論町

11月9日（日）、第43回与論町駅伝競走大会が開催されました。選手の皆さんは総合運動場を出発し、1区の小学生男子から14区までたすきを繋ぎ、県道循環道路を2周走りぬきました。

優勝は与論チーム。2位の茶花チームと3位のましきなチームは接戦を繰り広げ、最後まで目を離せない展開となりました。選手の皆さんのご健闘に心から敬意を表するとともに、大会運営にご協力をいただいた各関係機関・ボランティアの皆様、そして沿道から温かい応援を寄せてくださった町民の皆様に厚くお礼申し上げます。



「小さな灯でも、みんなで灯せば世界はこんなにも明るくなる」

三原光尋 監督 / 映画『オレンジ・ランプ』より

11月1日(土)、与論町地域福祉センターにて『オレンジ・ランプ』の映画上映会が行われました。この映画は、39歳の若さで認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとにした物語です。

与論町認知症地域支援推進員の重久さんの発案で開催が実現したこの映画会。ご覧になった皆さんには、「認知症になっても人生を諦めなくていい」「辛い時は周りを頼っていいのだ」ということを実感していただけたかと思います。

そして、「自分で出来ることは自分でしたい。困った時だけ助けてほしい」という認知症本人からのメッセージも感じていただけたのではないのでしょうか。

認知症だけでなく他の病気や老いなど一人では思うように出来ないことがたくさんあります。

病気になっても、年齢を重ねても、そして介護状態になったとしても安心して暮らせる社会とは？

与論町にもそのヒントがありました。地域包括支援センターと連携をとり、

「その人らしく暮らせるように」そのためにほんの少し、想いを叶えるお手伝いをしている与論町生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)野口さんと江藤さんの活動をご紹介します。



▲「食べる」は大事！ 男の料理教室 (8/21)



▲第2回公民館キャラバン in 叶公民館 (10/25)



▲「親友に会いたい」面会に行こうツアー



▲海が大好きなあのひと、夏のお遊びに行こうツアー (8/13)



「最近、元気がなくて心配な方がいるんだけど話を聞きに行ってくださいませんか？」そんな情報をもらって訪問すると、「介護状態になる前は海が好きだった」という話に。海に行きたい。その想いを叶えるべく、充分に配慮しつつも、思いきって海に連れ出すと・・・ふさぎ込んでいたのが嘘のように生き生きとした笑顔が！

私たちが少しでも、誰かの“生きがい”をサポートできたら嬉しいです。

問合せ 与論町地域包括支援センター(役場1階) ☎ 0997-97-3112

祝・与論町特別支援教育を支える会（ジャガイモの会）設立 15 周年！



与論町特別支援教育を支える会（通称ジャガイモの会）は、平成22年10月16日、与論町の小・中・高等学校において、特別支援教育を受ける児童・生徒と、その保護者14名が古里公民館に集い、その産声をあげました。

この島で病気や障がいのある子を育てていく中で、地理的条件の悪さをなかなか克服できないことにより、本来全ての人に保障されているべき医療・福祉・学校教育を、病気や障がいのある子ども達が安心して希望通りに受けられない現実があります。結果的に「諦め」という形で、長年陽の光が当たりにくい問題として、未成熟のまま置き去りにされてきた過去があつたのではないだろうか。私はどうしても「諦め」の選択肢を黙って受け入れることはできませんでした。

この島の自然に抱かれ、温かい社会に支えられ、万人の愛をいただき、この島に生かされ生きていられることの喜びと、感謝の気持ちを社会に返すことにより、病気や障がいがありながらも、健気に生きているこの島の子ども達と、明るい未来を拓いていく。一途な想いと確かな決意の下、



本会誕生の一粒の種がこの島に落ちました。一粒の種には、無限の未来が隠されています。一人ひとりの子どもにも無限の未来が隠されています。その未来は誰にも予測することはできません。ここに一粒の種の育みの難しさと言義深さ、そして大きな喜びがあるのだと思います。

15年間積み重ねて参りました活動と研修の中で、明らかにしました会員家族の抱える様々な問題解決にあたり、ご指導・ご支援いただいた皆さま、会員ご家族、お世話になりました全ての方々に厚く感謝を申し上げますとともに、今後とも一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長 林健一

※『15周年記念誌』より一部抜粋

ジャガイモの会では、心身に病気や障がいのある子どもの療育・特別支援教育・福祉の向上に関する研修会やお楽しみ会、ジャガイモ栽培などを行っています。「愛と笑顔の島」与論島の未来を創るため、子育て中の保護者ご家族のご入会をお待ち申し上げます。

問合せ

◆社会福祉協議会 相談支援事業所

TEL：0997-84-3010

◆与論町役場 TEL：0997-97-3111

教育委員会 学務課 / こども未来課 / 健康長寿課

敬老訪問

与論町では、敬老の日を記念して、9月16日から22日にかけて敬老訪問を実施しました。

対象となったのは、今年度100歳を迎えられる方7名、101歳以上の方13名、90歳を迎えられる方46名の計66名の皆さまです。



100歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます



町長がご自宅や介護施設などを訪問し、賞状とお祝い金(与論町)、記念品(与論町社会福祉協議会)をお届けしました。

これからもどうぞお体に気を付けて、健やかに過ごしてください。





● 茶花小学校に遊具を御寄贈いただきました



令和6年度に茶花小学校を卒業した児童・保護者の皆様から卒業記念品として、遊具（うんてい）を御寄贈いただきました。

9月6日に新しく設置された遊具（うんてい）の前で卒業生及び保護者、学校、町関係者等が一緒になって完成式を行いました。「茶花小学校に新しい遊具をプロジェクト」関係者の皆様、寄附活動に御協力いただいた皆様、設置・施工にご尽力くださいました皆様に心から感謝申し上げます。

● 島から島へ笑顔でつながるオレンジライン 2025



今年も鹿児島県の島々が連携して、認知症への理解を深め、やさしい笑顔の広がる地域づくりを目指して「オレンジライン2025」を実施しました。テーマは「未来のあなたや大切な人へ・介護を頑張っている家族へ」こんな一言に救われた／救われそう」。皆さまからメッセージを募集し、島内デイサービス利用者の皆さんが心を込めて制作したシンボルキャラクター「ロボ隊長」と共に展示を行いました。

地域全体でやさしさを循環させる、そんな機会となりました。

● 旧役場庁舎跡地でキッチンカー営業開始



10月1日より旧役場庁舎跡地においてキッチンカーの営業を開始しました。事業者の皆さまからの利用希望が寄せられるとともに、役場跡地の有効活用に資するという町長のご判断を頂き、この度、旧役場庁舎跡地及び茶花海岸駐車場の一部をキッチンカー事業者向けに貸し出すことと致しました。観光客の方々だけでなく、町民の皆様にも各事業者のお弁当や料理を楽しんで頂くとともに、旧役場周辺の市街地がにぎやかになればと考えています。現在、3事業者が営業しています。ランチタイムにぜひご利用ください。

● 国頭村交流イベント「フルーツまつり」



8月9日に旧役場跡地にて与論町と姉妹都市盟約を締結した国頭村との交流イベントとして「フルーツまつり」を開催しました。当イベントは令和3年度に国頭村からパインの苗をいただき、与論町で栽培を始めたことを機に収穫祭として令和5年度より開催されています。本場の国頭村産のパインを始め、島内産のマンゴーや島バナナ等の直売会や、島内産のパイン等を使ったフード・ドリンク、加工品販売、フルーツ重さ当てクイズ大会を行い、会場は沢山の島民・観光客で賑わい、両地域のフルーツを存分にお楽しみいただきました。

お酒と上手につきあえていますか？

保健センターだより
(令和7年12月号)

本町においては、1日あたり3合以上の飲酒をする方が近隣市町村より多く、本町の健康課題である『早世』に大きく影響しています。

飲酒習慣について、飲酒頻度が時々であっても、**飲酒量が1合以上である場合は、「生活習慣病のリスクを高める飲酒」に該当している可能性が高いとされています。**

多量飲酒に気をつけましょう

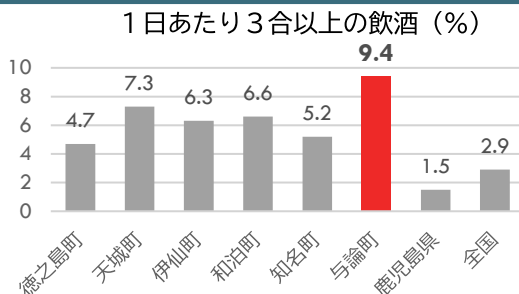
■多量飲酒とは、適正飲酒量の3倍にあたる純アルコール60g以上の飲酒のこと。

身体的影響：肝障害（アルコール性肝疾患・脂肪肝など）、消化器がん、脳卒中、糖尿病など
精神的影響：アルコール依存症
社会的影響：飲酒運転など

■多量飲酒になりやすい飲み方

ストレスをお酒で解消しようとする、寝酒・晩酌、迎え酒などの習慣がある人は要注意！

お酒でトラブルになるほどの飲み方をすると、依存症になっている可能性があります。依存症は病気です。一人で悩まず相談しましょう。



空腹の状態で飲むと内臓を痛めます。夜遅くからの食事やおつまみなどはカロリー過多になることも！

節度ある適度な飲酒をこころがけましょう

節度ある適度な飲酒量は、一日あたり、純アルコール分20g程度(下の図参照)です。



■アルコールに弱い人 → 無理して飲んではいけません。

女性、高齢者、お酒を飲む習慣のない人、すぐ顔が赤くなる人。（日本人の40%は、アルコール分解力が低い体質です。）路上寝込みや記憶がなくなったことがある人など。

■アルコールを飲んではいけない人 → すずめてもいけません。

妊婦・授乳中、アルコール依存症の人など。20歳未満の方も身体や脳への影響が大きいので、アルコールを飲んではいけません。



アルコールと上手に付き合うために～適量でいい酒を飲むアドバイス～

1. 適量でやめる

ビール（500ml）1本（アルコール分20g）を分解するのに、約3時間かかります。酔いが覚めたと感じても、分解のため肝臓はまだ働いています。（お酒は抜けていません。）



2. 食べながら飲む

肉や魚、野菜を取りながら胃壁を守り、酒の吸収を抑えると肝臓の負担が軽くなります。



飲む前にはトマトがオススメ！

トマトの食物繊維はアルコールを吸収する高性能スポンジの役割があります。

3. 強い酒は薄めて飲む

強い酒は胃を刺激し、胃炎や十二指腸潰瘍の原因となります。



お酒と同量のお水を飲む！

お酒が薄まれば体への影響が軽減します。食べ過ぎ飲み過ぎ防止に効果的な炭酸水もおすすすめです。



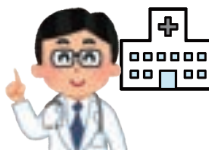
4. 週2日は休肝日をとる

肝臓の修復する時間を十分にとる。肝臓を酒から開放する、思いやりの心を持ちましょう。



5. 定期検診を必ず受ける

肝臓は沈黙の臓器。肝機能の状態を調べるためには定期検診を受診しましょう。



健康おきなわ21「あなたはいい酒？悪い酒？」参照

ひとりで悩んでいませんか？～相談窓口のご案内～

誰もいろいろなストレスを抱えているものです。「このくらいなら大丈夫」と思っている、ストレスが長く続いたり、いくつものストレスが重なり合うことがあります。ひとりで悩まずに、早めに相談しましょう。

<こころとからだに現れる変化>

- ・眠れない・食欲がない・だるい
- ・落ち着かない・集中できない
- ・不安・恐怖・イライラ・やる気がでない など

- 与論町保健センター（0997-97-5561）
- 徳之島保健所（0997-82-0149）
- よりそいホットライン（0120-279-338）
- 24時間こどもSOSダイヤル（0120-0-78310）
- こころの健康相談統一ダイヤル（0570-064-556）
- NPO法人 ネットが 以鹿児島
- LINE ID「meyasubako」で検索可能です
- こころのほっとチャット LINE ID「kokorohotchat」もしくは右のQRコードより



【問合せ先】与論町保健センター TEL : 0997-97-5105 FAX:0997-97-5110

島を護る 未来の自衛官になろう！
令和7年度 陸上自衛隊 高等工科学校
生徒募集

■ 高等工科学校とは？

将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる者を養成し教育する陸上自衛隊の学校です。

■ 募集要項

【募集種目】 高等工科学校 一般

【応募資格】 男子で中卒(見込含)17歳未満の者

【受付期間】 令和8年 1月15日(木)まで

【試験期日】

第1次試験 令和8年 1月24日(土)・25日(日)のいずれか指定された日

第2次試験 令和8年 2月12日(木)～15日(日)までの間の指定する日

【試験会場】 徳之島合同庁舎(国) 所在地：徳之島町亀津553-1

【入 校】 令和8年 4月上旬

【お問い合わせ先】

自衛隊鹿児島地方協力本部
徳之島駐在員事務所 TEL 0997(83)3080



こどもはみんな、島の宝

はじめまして！ ゆんぬんちゅです

与論町に生まれた赤ちゃんを紹介するコーナーです。
あなたの赤ちゃんのご応募もお待ちしています！

【応募先】総務企画課 担当：池田



ひかり はると
光 晴翔 さん (令和6年12月31日生)

ヤーナー： タラ
両親： 光 朋克・美帆(茶花)
ひとこと： もうすぐ1歳！
すくすくと育ってね！

戸籍の窓

令和7年8月～10月

※掲載許諾を頂いた方のみ、
掲載しています(敬称略)

いつまでもお幸せに

◇8月届出分

田畑 英行
森 早也果
茶花 那間
(氏名・集落)

お誕生おめでとうございます

◇8月届出分

池田 滢生
玄 藍沙
真光 龍介
城 古里
(氏名・保護者・集落)

◇9月届出分

原田 琉仁
阿野 健
琢 涼平
茶花 東区
(氏名・保護者・集落)

◇10月届出分

本 景色
佐藤 光莉
伸幸 嵩史
茶花 朝戸
(氏名・保護者・集落)

ご冥福をお祈りします

(氏名・享年・集落)

◆8月届出分

津留 ナヘ
沖 忠一
78歳 叶
106歳 立長
(氏名・享年・集落)

◆9月届出分

関野 チョ
川畑 富村
91歳 古里
98歳 東区
(氏名・享年・集落)

◆10月届出分

山下 キク
山 福榮
88歳 茶花
97歳 東区
竹井 富雄
81歳 東区
岩山 由起子
47歳 茶花
松井 孝幸
80歳 立長
(氏名・享年・集落)

◆10月届出分

吉川 フミ子
沖 攝
81歳 那間
白尾 忠茂
69歳 朝戸
出村 キヨ子
99歳 立長
白石 美代子
93歳 立長
(氏名・享年・集落)

／ 与論島は ／

世界水準の
「持続可能な観光地域づくり」
に挑戦しています。



2021 年より、与論町は日本でも先進的に国際基準を取り入れた観光地域づくりに向けて、ニセコ町や釜石市を含む全国8自治体と連携し、日本「持続可能な観光」地域協議会を設立し、住民にとって持続可能な地域を作るべく、国際基準に取り組んでいます。

2021・2023 年と Green Destinations TOP100 Stories にも選出され国内外より与論島の取組が注目されています。



観 光庁が制定している日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）のロゴ認証を与論町役場とヨロシ観光協会は取得しています。



What 持続可能な観光の定義とは

『訪問客、業界、環境および訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在および将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮する観光』

今の幸せ

&

未来の幸せ

Who? 誰のため？

現在・未来の島民



観光客



事業者



環境

関わる人・生き物
コミュニティ等の全て



How どんなことを取り組んでいるの？

与論島が取り組んでいる「世界持続可能な観光地域基準」(GSTC)はサステナブル・マネジメント、社会経済的影響、文化的影響、環境への影響の4つの柱で構成されています。

サステナブルマネジメント

- 10年計画である「与論町観光振興計画」は上位計画である「第6次与論町総合振興計画」と連携し、取組を進めています。
- アンケート等により現状の課題・ニーズ・満足度を調査し改善に取り組んでいます。
- 来島者分析などマーケティング / モニタリング。

社会経済

- 地元の仕入れ・雇用の促進や地域特産品開発の支援をしています。
- 観光開発や政策にアンケート等にて住民の意見を取り入れ、島の社会安全をしています。
- 観光客と地域社会が互いに尊重し支え合う仕組みをつくっています。

文化

- 現状ある文化財リストの作成と観光資源としての利用ルールをつくっています。
- 島の文化を伝え継承、保全を行うためのコンテンツをつくっています。
- 観光客へ島の暮らしへの文化理解をおこなってもらうことや日常の暮らしへの配慮を観光ルールに反映しています。

環境

- 環境の定期的なモニタリングを行い、保護活動を行っています。
- 環境教育と意識の共有を行っています。
- 台風などの災害対策を観光計画に取り組んでいます。
- 資源の節約と廃棄物の削減について仕組みづくりをおこなっています。

Why

サステナブルツーリズムって
取り組むメリットはあるの？

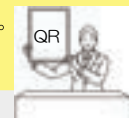
サステナブルツーリズムは、地域の「現状調査」から始まります。世界持続可能な観光ガイドラインを活用したこの調査は、地域の「健康診断」のようなものです。健康診断がすぐに利益を生むわけではありませんが、自分の状態を知ることによって将来の健康というメリットを得られるように、観光地や事業者にとってもこの調査は地域をより良くマネジメントするための大切なステップです。課題を把握し、改善を重ねることで、地域全体の持続的な発展という大きなメリットにつながります。



与論島から始まった
地域連携宿帳 DX
簡単モバイルチェックイン

与論島では1970年代から来島者数の調査を行ってきたものの、正確な観光客数は把握できていませんでした。そこで2023年から、旅館業法に基づく宿帳を活用した「簡単モバイルチェックイン」システムを導入し、全宿泊事業者の協力のもとデジタル化を進めています。

これにより、宿泊者の管理が容易になり、島全体の宿泊者数や属性をリアルタイムで把握でき、観光マーケティングや災害時対応にも活用可能となりました。操作は二次元バーコードを使うだけで簡単に行え、デジタルに不慣れな事業者でも利用しやすい仕組みです。新規事業者も観光協会に申し込みれば無料で利用でき、島内全体での導入を目指しています。



実際にどんな取組をしたらいいの？ わたしたち住民ができることはなに？

大気汚染対策

レンタサイクルや徒歩の推奨

単に”環境に優しい移動手段だから”というだけでなく、島の観光体験の質を高め、地域にもより影響をもたらします。

資源の保全

節電・節水の呼びかけ／実施

島の資源には限りがあります。観光客と住民が一緒に意識することが大事です。小さな行動が未来を守ります。使わない照明を消す、エアコン温度を控えめにする、水道を出しっぱなしにしないなど取り組みませんか。

コミュニティ

地域コミュニティへの参加

地域コミュニティへの参加を行い、地域の目指すところを共有し、地域と協働、地域還元を行います。

文化の保全・継承

方言・文化・風習を話題にする

方言や島の文化・風習を話題にすることにより、次の世代に島の魅力を再度伝えることができ、更にお互いを理解し合うコミュニケーションが生まれます。

地域経済

地元からの購入（地産地消）

地域のお店や地域特産品を購入することにより、“地元を応援する”という感情的な意味だけでなく、地域経済・環境・文化のすべてを支える仕組みでもあります。

マネジメント

課題を共有し、声を届ける

観光客・島民・事業者などのアンケートを行い、観光に対する満足度調査や問題点の抽出により改善を重ねていきます。

おもてなし

観光客に笑顔で挨拶

『こんにちは』と笑顔で声をかけることで、島の温かさを伝えることができ、リピーターや口コミによる持続可能な観光につながります。

環境保全

ゴミの分別・削減・清掃

ポイ捨てをしないことはもちろん。ゴミの分別や削減を行うことにより島の環境への負担軽減。清掃を行うことにより、観光客や住民が気持ちよく過ごすることができます。

Green Destinations ってなに？

Green Destinations (GD) は、世界持続可能な観光協議会 (GSTC) の地域基準 (GSTC-D) に基づく認証機関であり、観光地の持続可能性を評価する約 100 項目の指標を定めています。

これらの指標では、計画やモニタリング、改善策、リスク管理、情報共有などのエビデンス・実施状況が確認され、すべての基準を満たすことで GSTC 認証地域と認められます。さらに、認証後も 2 年ごとに更新審査が行われます。

例えば：水の提供について、水の計画があるか、それは環境にも負荷はなく、安全でどのように管理されて提供を行っているか、提供される人への不公平さはないか等、実際の報告書や体制を確認。また、その計画や状況の情報共有や危機管理、満足度などのチェックを行います。

計画を作成する

計画を実行する



改善し次回に繋ぐ

行動を評価・分析



第77回県民スポーツ大会 女子カヌー競技

与論町チームが見事優勝！



表敬訪問の様子



11月19日に伊佐市で開催された第77回県民スポーツ大会 女子カヌー競技において、与論町代表チームが見事優勝を果たしました。

大会には県内各地から強豪チームが出場する中、選手一人ひとりが最後まで力を出し切り、チーム一丸となって勝利をつかみ取りました。

これまでの練習の成果を存分に発揮した選手たちの健闘を称えるとともに、応援をいただいた町民の皆さまに深く感謝申し上げます。

今後も与論町のスポーツ振興と若い世代の育成に向け、さらなる活躍が期待されます。